

〈ひろぎん〉のESG活動

事業活動を通じてESG課題を解決することで、地域と〈ひろぎん〉の持続的成長を実現します。

認識する 課題

- 森林伐採など環境破壊
- 豪雨災害など異常気象
- 少子高齢化
- 働き方改革
- グループガバナンス
- お客さまの資産形成

主な取組み

E
nvironment

- 環境配慮型商品
- 環境配慮型の新本店ビルへ建替え
- 植樹、里山づくり
- ペーパーレス化の推進
- 地域の清掃活動

S
ocial

- 私募REIT組成等によるまちづくり支援
- 継続的な金融教育
- 健康経営宣言の策定と働き方改革
- 管理・監督職への女性登用
- 周年事業による社会還元

G
overnance

- グループ会社の再編
- 多様性のある役員体制
- お客さま本位の業務運営の実践

Environment 環境

次世代へ豊かな自然環境を残すために、できることから着実に取り組んでいます。



融資関連商品を通じた 環境負荷の軽減



再生可能エネルギー需要が高まる中、〈ひろぎん〉も環境に配慮した融資商品を取り扱っています。地球環境対応支援制度「エコ・ハーモニー」や〈ひろぎん〉太陽光発電向け専用融資制度など、お客さまとともに地域の環境課題解決に向けた取り組みを行っています。



環境配慮型の 新本店ビルを建設中



2021年1月に完成する予定の新本店ビルには、最新の環境技術を導入する計画で進めています。自然エネルギーを利用して建物自体が風を取り入れる「自然換気システム」、夏は涼しく冬は暖かい「地中熱利用」のほか、LED照明による省電力化や雨水利用による水資源の節約など環境に優しいオフィスビルを目指しています。

描く 将来像

効果

- 環境負荷の低減
- 豊かな自然環境の保持
- 自然環境に関する役職員の意識向上
- 地域再開発等による経済活性化
- 地域の金融リテラシー向上
- 自行のみならず地域企業への健康経営の啓蒙・普及
- 女性活躍による外部評価「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」採用
- グループガバナンスの強化
- 多様な知見を持つ社外役員の活躍
- 付加価値の高い商品・サービスの提供

地域経済の
活性化

地域社会の
発展・向上

地域の
環境保全

健全で
透明性の高い
経営体制の
確立

地域と広島銀行の
持続的成長



里山づくりと地域清掃活動

「ひろぎんの里山」では、2010年から5年間植樹活動を実施し、2015年からは下草刈り等の森林整備活動に継続して取り組んでおり、役職員の環境保護に対する意識向上の一助となっています。また、地域の清掃活動等には、新入職員を始め有志の役職員やその家族が積極的に参加しており、地域と〈ひろぎん〉の関係構築にもつながっています。



Social 社会

地域経済活性化に向けて、金融機関としてのノウハウを活かした課題解決に取り組んでいます。



まちづくりで 地域経済活性化を実現

〈ひろぎん〉本店ビル建替えを含む広島市内の再開発プロジェクトに計画段階から積極的に関与し、地域経済活性化に貢献しています。また、地銀初の私募REIT組成など地元の不動産を通じたまちづくり支援も行っています。

私募REIT（リート）とは… 非上場の不動産投資信託のことです。投資家から集めた資金を不動産などに投資し、その賃料収入などから得られた利益を投資家に分配する仕組みで、資産の運用・管理を行うのが「資産運用会社」です。

地銀初！ 私募 REIT の組成

当行完全子会社

「ひろぎんリートマネジメント」

〈資産運用会社〉

運用指図

投資対象 地元の再開発対象不動産や建替物件



「まちづくり」の担い手として地域再開発を主導し、
地方創生や地域経済の活性化に貢献



「金融」をもっと身近に感じてもらいたい

生活になくてはならない「金融」を地域の皆さまにもっと身近に感じていただくため、金融教育を実施しています。小学生を対象とした「〈ひろぎん〉キッズ・マネースクール」では銀行内の見学や、お金の大切さと正しい使い方を学ぶ講座を実施しています。その他にも、地元の中・高生の職場体験学習を実施し、金融の仕組みを理解していただく機会を提供しています。



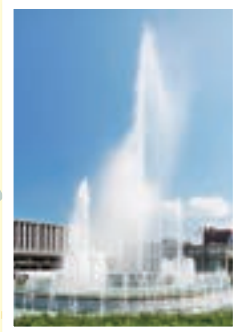
おかげさまで
140th
ANNIVERSARY

「〈ひろぎん〉」の 140周年記念事業

お客さまへの感謝の気持ちを込めて、
金融機関として地域経済活性化に
貢献するための事業に取り組みました。

平和記念公園内「祈りの泉」
全面リニューアル（広島市へ寄付）

原爆被災者の慰霊と平和への祈りを込めて当行が
1964年に建設し、広島市に寄贈した「祈りの泉」
を全面リニューアルしました。



応援ノート贈呈

学生の皆さまに「応援ノート」を贈呈。普段
の学習に使用できるノートの中に、銀行の便
利なサービスや活用術などを紹介しています。





中小企業の後継者不足は喫緊の課題

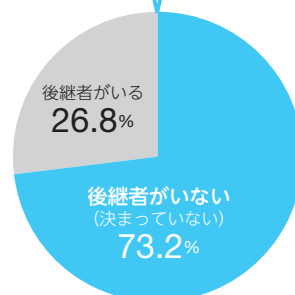
少子高齢化が進む日本において中小企業の後継者不足は深刻な問題です。都道府県別の後継者不在率では広島県は全国第5位（73.2%）と他の地域に比べて中小企業の廃業リスクが高い地域との結果が出ています。「他県に比べて事業承継ニーズが強い地域」であり、〈ひろぎん〉の豊富な人財を活かしたM&A支援等でこの課題解決を実現してまいります。

M&A支援の詳細はP12をご参照ください。

POINT3 長年の経験に基づいた「プロ人財」によるM&A支援

全国第5位

(全国平均66.4%)



(出所：帝国データバンク)



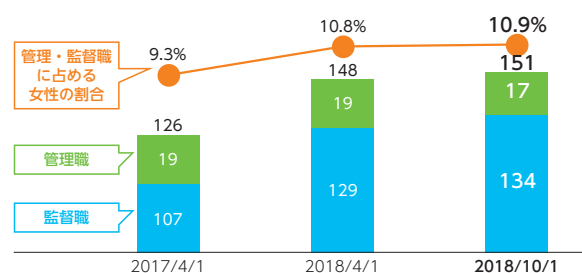
多様な人財が働きやすい組織づくり

多様な人財が力を発揮することで〈ひろぎん〉の企業価値を高めるために、積極的に働き方改革や従事者の能力向上のための取組みを行っています。特に働く女性の環境を充実させるために、家庭と仕事の両立を支援する制度を通じたキャリアアップ支援や広島県と共同で利用する認可事業所内保育施設を設立するなど積極的な女性活躍推進のための取組みも行っています。

女性の管理職・監督職への登用も積極的に行っており、MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）にも採用されました。



● 女性の管理職・監督職への積極登用 (単位：人)



大学生向け 金融セミナー

これから社会人として活躍する地域の大学生の皆さまに向けて、「金融リテラシーの向上」に資するセミナーを開催しました。



中高生対象の 金融講座・地元企業見学ツアー

地域の未来を担う学生の皆さまに、お金の大切さや金融の仕組みを知っていただく金融講座を開催しました。また併せて、地元の企業に親しみを持っていただくため、地元企業の工場見学等にご招待しました。



クラシック コンサート開催

地域の文化振興支援の一環として記念クラシックコンサートを開催し、地域の小・中・高校生、大学生の皆さまをご招待しました。



記念配当を実施

株主の皆さまの日ごろのご支援への感謝を込めて、記念配当を実施します。(詳細はP16をご参照ください。)



平成30年7月豪雨災害について 一日も早い復旧・復興を願って

記録的な豪雨による土砂災害や河川の氾濫がおり、人的・物的両面で甚大な被害をもたらしました。多くの尊い命が失われ、連日メディアで惨状が報じられました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された

方々に心よりお見舞いを申し上げます。私たちは地域金融機関として、復興に向けた支援について何ができるかを考え、以下の対応を行っています。

義援金

広島銀行およびグループ会社など役職員による寄付
7,578,473円

広島銀行およびグループ会社による寄付
60,000,000円

寄付先 広島県： **50,000,000円**
岡山県、愛媛県： **各5,000,000円**

お客さまからの義援金の受付

江田島市、呉市など各市町、日本赤十字社広島県支部 等 宛て

地域の被災者への支援対応

- ① 便宜的対応
 - ・無通帳、無印鑑（拇印で代用）での払出
 - ・無印鑑での通帳・キャッシュカードの再発行（再発行手数料免除）
 - ・汚損紙幣・硬貨の両替
 - ・災害影響により支払期日が経過した手形の取扱い
 - ・営業時間後の受付など柔軟な対応 他
- ② 「災害復旧特別融資」の創設
- ③ 「大雨災害に対するご相談窓口」の設置
- ④ 保険契約での災害救助法適用地域の特別取扱い
- ⑤ 被災者の貸金庫利用時の手数料免除
- ⑥ 「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」への対応
- ⑦ 被災者へのお見舞い、救援物資等の提供 他

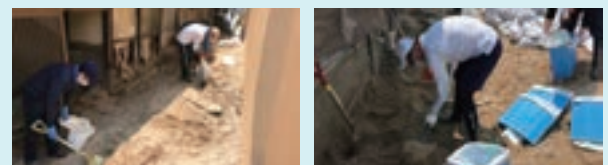
対策推進本部設置



ボランティア

被災地への従事者派遣 **延べ約300名**

※その他、従業員の自発的なボランティア参加



2018年10月 西日本豪雨復興支援ファンドの設立

当行は、地元被災県の金融機関とともに、被災された事業者の皆さまの事業継続・復興を支援させていただくため「西日本広域豪雨復興支援ファンド」に出資しました。

本ファンドは、被災地域の主要な金融機関が連携することにより、被災地域全域をカバーし、被災された事業者の皆さまの事業継続や再開、再建を支援してまいります。

ファンドの概要 (2018年10月31日現在)

名 称	西日本広域豪雨復興支援ファンド投資事業有限責任組合
設立時ファンド金額	2,080百万円
組合員構成	株式会社広島銀行、株式会社中国銀行、株式会社伊予銀行、株式会社愛媛銀行、株式会社日本政策投資銀行、REVICキャピタル株式会社、ロングブラックパートナーズ株式会社
設立日	2018年10月31日
存続期間	10年間
業務運営者	REVICキャピタル株式会社、ロングブラックパートナーズ株式会社

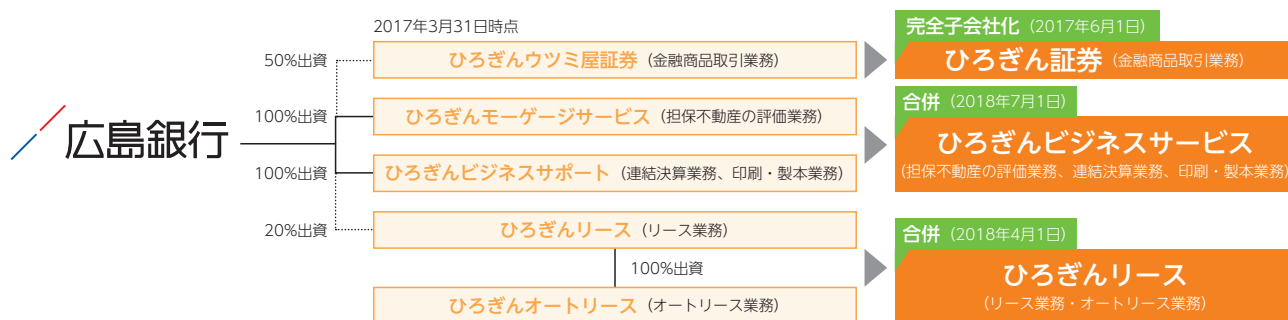
Governance ガバナンス

ガバナンスの強化と、お客さま本位の業務運営の実践に向けた取組みを積極的に展開しています。



グループ会社の再編

連結子会社・関連会社の再編を進めています。重複する業務の統一など業務の効率化を実現し、グループガバナンスを一層強化していきます。



様々な知見を持つ 社外役員による多様性

コーポレートガバナンス体制を強化するために、異なる知識・経験・能力を持った社外役員による経営への関与を高めています。2015年から女性の社外取締役、社外監査役各1名を選任し、経営陣のダイバーシティを推進することで議論の活性化を促進しています。

取締役	社内	代表取締役	
	社外	元・日本銀行広島支店長	2015年6月、女性取締役1名選任 - 取締役の3割が社外取締役
	社外	広島市立大学教授	
監査役	社内	元・日本電信電話(株)会長	
	社内	弁護士	- 監査役5名中3名が社外監査役 - 社外監査役1名が女性
	社外	公認会計士	
	社外	元・(株)アンデルセン社長	



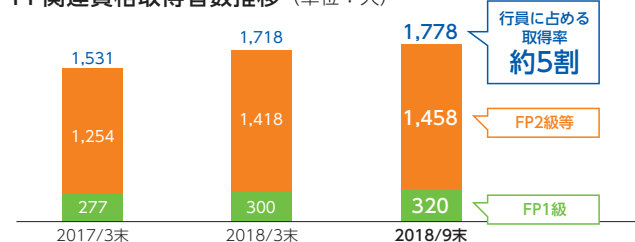
お客さま本位の業務運営の実践

持続可能な成長を続けるためにはお客さまに役立つ商品・サービスの提供が不可欠であると考え、お客さま本位の業務運営の実践に取り組んでいます。

取組方針の公表による役職員への意識浸透のみならず、グループ子会社のひろぎん証券との連携強化による商品ラインナップの充実を図っています。また、お客さまとの長期的な資産形成に関するリレーション能力を高めるためにFP関連資格の取得など高度な人財育成も行っています。

高度な専門性を有した人財の育成

FP関連資格取得者数推移 (単位: 人)



豊富な知識に基づいた最適な提案の実現